
Memorise in merody

紅美夜みりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Memorise in merody

【Nコード】

N3297Q

【作者名】

紅美夜みりん

【あらすじ】

日常系物語。

人の関係を描いていく。

世界は理不尽。

でもそんな世界でも人は生きていく。

不満がある。

それもありふれた世界。

どんな人で生きたい？
それはあなたのすぐ、小さな気づきからの始まりです。

前書き（前書き）

閲覧ありがとうございます。

前書き

ある日の昼下がりに。

一ノ瀬美依はやる気に満ちていた。
いちのせみより

何の特別な日でもないのだが、本人にとっては特別な日だった。
ある建物の前。美依は建物のドアの前で緊張していた。
かなり緊張していた。

（うう、挫けそう）

緊張がもたらす尿意もさつき気づいた。

（やっぱり行ってから来れば良かった）

そう思いながらもドアをこんこんつ、とノックした。

（ここは我慢だ、私！ なんせ生活もかかってるんだから！）

家の近くにある喫茶店。

美依はそこにバイトとして来ていた。

（今日の面接に受かったら晴れてプーは卒業！ フリーターにジョブチェンジ！）

「はい、どうぞ」

柔らかな声が中から聴こえた。どうやら女の人みたいだ。
美依は店の裏口から店へと入っていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3297q/>

Memorise in merody

2011年1月26日00時48分発行